
令和3年度 第1回 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

日時: 令和3年8月6日(金)18:30～20:30

場所: 高知城ホール 中会議室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 令和3年度の実施について
- (2) 啓発資料について
- (3) 令和4年度の実施について

3 閉会



人生の最終段階における医療・ケアの意思決定支援事業 令和3年度事業計画（案）

- 県民世論調査・・・・・・・・・・4～12月
- 検討会議の開催・・・・・・・・・・2回（8/6・2月）
- 指導者研修（国）への参加・・開催なし（【R元年度：8/31-9/1、R2年度：未開催】）
- 相談員研修（国）の開催・・・・2回（10/23・12/12 Web開催【R2年度：12/12】）
- 公開講座の開催・・・・・・・・・・3回（高知市・安芸市・四万十市、2月～）
告知チラシの事前作成・配布（11～12月）
- 出前講座の開催・・・・・・・・・・団体 or 市町村主催の研修会等で講演（9/24）
- 県民向け広報・・・・・・・・・・高知新聞掲載（9月）、テレビ、ラジオでの読み上げ等（10～12月）、さんSUN高知掲載（1月）
- 啓発ポスターの作成・・・・・・・・初級編の啓発ポスター作成・配布（10～11月）



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討会議		■市町村 へのアン ケート調 査			■検討会議① * R3取組確認 * 啓発資材の検 討 * R4取組検討						■検討会議② * R3実績報告 * R4取組確認 * 県民世論調 査の結果報告 * 啓発資材の 検討	
人材育成							■相談員研修 (国)		■相談員研修 (国)			
住民啓発	■県民世論調査 * ACPの認知度の項目を追加 して調査				予定：4月 テーマ募集 6月 設問作成 8月 調査票発送 10月 中間報告 12月 最終報告				■公開講座 * チラシ作成・配布		■公開講座 * 高知市 * 安芸市 * 四万十市	
	■県民向け広報 * テレビ、ラジオ * さんSUN高知掲載 * 高知新聞掲載 での読み上げ等 ■ポスター作成・配布											
	■出前講座 * 高知市老人クラブ連合会主催											

【人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））について】

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））とは、人生の最終段階に向けて、自分自身大切にしていることや、どのような医療や介護を望んでいるのかについて考え、信頼する人たちと話し合うことを意味します。

人生の最終段階における医療・介護について、本人・家族や医療従事者などと事前に十分な話し合いが行われた上で、本人の意思決定を基本とした最善の方針が図られるよう、県において必要な取り組みを進めています。

問17 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知っていますか。

(1つだけ○印)

- 1 知っている、または聞いたことはある →副問1へ
2 知らない

副問 1 (問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください)

どのようにして人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知りましたか。

(1つだけ○印)

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 インターネット
- 3 新聞
- 4 終活セミナーなどの講演会や研修会
- 5 家族や友人、知人
- 6 医療機関
- 7 薬局
- 8 その他（ ）

問 18 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。

(1つだけ○印)

- 1 自宅
- 2 医療機関
- 3 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅
- 4 特別養護老人ホームなどの介護施設
- 5 その他（ ）
- 6 分からない

「本人(患者)の意向を尊重した意思決定のための研修会」の実施状況等について

1 研修会の目的等

- 厚生労働省が国立大学法人神戸大学に委託して実施する「人生の最終段階における医療体制整備事業」として、平成 28 年度から開催。
- 人生の最終段階における医療・ケアに関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化することを目的に、全国でブロック毎に開催。
- 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等で構成される「医療・ケアチーム」を対象とした「相談員研修」及び相談員等の人材を育成するため相応の経験を積んだ医療従事者等を対象とした「指導者研修」を実施。

令和元年度の研修実績

相談員研修

《 四国会場 》

■高知会場

- * 日時 令和元年 12 月 22 日(日) 9:00～17:30
- * 場所 近森病院 (高知市追手筋)
- * 参加数 27 チーム (89 名)

指導者研修

- * 日時 令和元年 8 月 31 日(土) 11:00～18:50
9 月 1 日(日) 8:30～16:20
- * 場所 TKP 赤坂駅カンファレンスセンター(東京都港区赤坂)
- * 参加者 (高知県より)4 名が受講

令和2年度の研修実績

相談員研修

《 四国会場 》

- * 日時 令和2年 12 月 12 日(土) 9:00～17:30
- * 開催方法 Web 開催(各医療機関の会議室等)
- * 参加数 3 チーム(11 名)

指導者研修

- * 未開催

受講者累計(平成 28 年度～令和2年度)

相談員研修

- * 37 機関・147 名が受講

指導者研修

- * 5 機関・10 名が受講

啓発資材の内容について

■資材作成の目的

人生の最終段階における患者の意向を尊重した意思決定(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)について、県民への普及啓発を進めることを目的とする。

■資材活用案

- ・公開講座、講演会、研修会で活用
- ・市町村役場・保健センター、医療機関、介護施設等に配布

■今年度作成の経緯

令和2年度は初級編として「人生会議してみませんか？」のリーフレットを作成。昨年度の検討会議で、「人生会議」についての導入部分に当たる資材1つだけでなく、その方が置かれている状況や場面に応じた資材を作るべきという意見があった。

■今回掲載するテーマ

■内容

県民に対し考えてもらいたいことがある場合、以下のような質問を記載してはどうか。

- ・健康面で、心配なところがありますか？「ある」の場合、それはどういうところですか？
 1. ある()
 2. ない
- ・どういう医療を望みますか？(「治癒が不可能な病気」になり回復が不可能な場合)
 1. 延命を最も重視した治療(心肺蘇生、気管挿管、人工呼吸器の使用など、心身に大きなつらさや負担を伴う処置)
 2. 延命効果を伴った基本的、一般的な内科治療(1. 同様の心身に大きなつらさや負担を伴う処置までは希望しない)
 3. 快適さを重視した治療(治療による延命効果を期待するよりも、できる限り苦痛の緩和や快適な自分らしい暮らしを大切にしたい治療を受ける)
 4. 自然のままで、何もしない

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の解説

ACP の話し合いには次の内容が含まれる。

- ・患者本人の気がかりや意向
- ・患者の価値観や目標
- ・病状や予後の理解
- ・医療や療養に関する意向や選好、その提供体制

※厚生労働省が5年周期で行っている「人生の最終段階における医療に関する意識調査」より参照

- 検討会議の開催・・・・2回（7月・2月）
- 指導者研修への参加・・・・1回（時期未定【R元年度：8/31-9/1】、東京 R2・3年度は未開催）
- 相談員研修（国）の開催・・・・2回（Web開催【R3年度：10/23・12/12】 【R2年度：12/12】）
- 公開講座の開催・・・・3回（高知市・安芸市・四万十市、11～12月）
告知チラシの事前作成・配布（9～10月）
- 出前講座の開催・・・・団体 or 市町村主催の研修会等で講演
- 県民向け広報・・・・テレビ、ラジオでの読み上げ等（10～12月）
- 啓発資材の作成・・・・A4見開き（4面）または三つ折り（6面）（9～10月）5,000部

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討会議				■検討会議① ＊R4取組確認 ＊啓発資材の内容確認 ＊R5取組検討							■検討会議② ＊R4実績報告 ＊R5取組確認	
人材育成							■相談員研修 (国)		■相談員研修 (国)		■指導者研修 (国) 未定	
住民啓発	■公開講座 ＊チラシ作成・配布						■公開講座 ＊高知市 ＊安芸市 ＊四万十市					
	■啓発資材の作成 ■県民向け広報 ＊テレビ、ラジオでの読み上げ等											
	■出前講座 ＊団体・市町村主催の研修会（要望があれば）											

県内市町村の ACP に関する取組状況等(今年度の取組)

市町村名	取組	時期	備考
安芸市 (市民課)	■安芸市版「私のリビングウィル」を安芸市ホームページやフェイスブックに載せ、普及啓発を行う。	■R3年度	
香南市・南国市・香美市の3市と医師会	■在宅医療・介護連携推進事業の取組で住民向け講演会を予定 講師: 高知大学医学部 阿波谷教授	■R4 年 1 月	
土佐町 (地域包括支援センター)	■地域のつどいで、「おぼえがき(エンディングノート)」の活用	■R3年度	■「おぼえがき医療編」は現在、嶺北地域3医療機関で活用している。
佐川町 (健康福祉課)	■介護保険事業所説明会での周知、家族のつどいの中での「エンディング」をテーマにした講話の中での周知。	■R3年度	
奈半利町 (住民福祉課)	■中芸広域連合と連携し、令和元年度より取り組み。中芸広域連合で啓発資材の作成を検討。	■R3年度	■在宅医療介護連携推進事業の一つ
嶺北 4 町村合同 (大豊町、本山町、土佐町、大川村)	■住民向け講演会を実施予定。	■R3年10月	■嶺北地域在宅医療介護連携推進事業の一つ

県内市町村の ACP に関する取組状況等(今年度の取組)

市町村名	取組	時期	備考
いの町 (地域包括支援センター)	■ 老い支度講座を町民講座と多職種協働研修として開催。 ■ 上手に老いるための自己点検ノート(人生の自己申告、認知症への備え、終活)を活用	■ R3年7月	
仁淀川町 (地域包括支援センター)	■ 地区ミニデイに出向き、包括職員が「心積もりノート」の周知を行っている。 ■ 臨床倫理プロジェクト作成「心積りノート(改訂版)」を教材活用。	■ R2年10月頃～	
四万十市 (高齢者支援課)	■ 住民向け研修会 ＊講師は選定中で、看取りについての内容。	■ R3年度	
大月町 (地域包括支援センター)	■ 関係機関に県作成のリーフレットの説明を行い、住民の目に触れる場所に置いてもらう。	■ R3年度	
津野町 (地域包括支援センター)	■ 住民グループや高齢者の集いの場での学習会の実施。	■ R3年度	
宿毛市・大月町・三原村ブロック地域包括ケア推進協議体	■ 「ACP により意思表示のある傷病者への救急対応の地域ルールづくり」の検討	■ R3年度	